

との大切さ、仲間と協力することの大切さについて講義と実技を行うことで、より良い人格形成につながると認識しており、現在検討している。

### ●特産品創出で地域活性化

**問** 地場産の米麦を使ったビール、地酒等の取り組みはどうか。また、地産地消の推進による地場産農産物の活用を促進する取り組みはどうか。

**答** 行田在来青大豆を使用した豆腐、みそ、せんべい等20種が商品化され、行田産大麦「彩の星」を使ったプレミアムビールも昨年に引き続き発売予定である。酒米「さけ武蔵」と彩のかがやきを使った100%行田産の地酒もある。地場産農産物の利用拡大のため、昨年度から行田市地産地消応援団事業を進めている。

## マイナンバー

**マイナンバー制度の問題点と危険性**  
三宅 盾子  
(まちを住みよくする会)

**問** マイナンバー制度は、国民に何のメリットもない。

**答** この制度は、国が一人の人

がどの程度の税を払い、どんな福祉サービスを受けているか情報を一つにまとめ、社会保障費の削減を目的とする。

9月成立の番号拡大法では、生体認証が認められた。一般的な顔認証ソフトでも、顔写真(番号カードは顔写真付き)があれば、ネット上で同一人物の顔写真を検索でき、写真に位置情報が組み込まれていれば、いどこにいたかという事まで探ることが可能と識者が述べている。

番号拡大法により、将来的には、個人の銀行口座への番号利用拡大で、民間にも情報が流れる。市の「漏えい対策」では、番号管理の職員は、正規職員なのか。

**答** 正規・非正規職員ともに個人情報を取り扱う。

**問** 任意申請(希望)番号カードのICチップ内臓情報は。

**答** 電子申請のための電子証明書が記録されている。今後番号カードのICチップ空き領域の独自利用を検討する。

**問** 番号カードは文中でなく、「任意申請」の見出しで市民に知らせるべきでは。

**答** 市報等で、文中において

記載している。

## 社会保障

**高すぎる  
国民健康保険税の  
引き下げについて**  
斉藤 博美  
(日本共産党)

**問** 日本は全ての国民が何らかの保険に入る国民皆保険制度である。会社員や公務員が定年退職した時、失業で社会保険から外れた時などでも、無保険にならずにすむ。国保は最後の砦である。

国保は国の責任で全ての国民に医療を提供する社会保障制度であることから、一般会計から繰入金を増やし、5人に1人が滞納している高すぎる国保税を引き下げるべきでは。  
**答** 国民皆保険制度において重要な役割を担っているが、

社会的な相互扶助の精神にのっとり加入者が経費の負担をするものと考ええる。

**問** 国は低所得者対策として今年からの約1700億円と合わせ平成30年以降約3400億円の公費投入を決定。政府発表では一人年額1万円の引き下げ効果があるとのこと。しかし、本市は一般会計から国保会計へ行われている繰入金を削減。その穴埋めに公費が使われ、保険税の引き下げにつながっていない。なぜか。

**答** 国保財政は赤字のために一般会計からの繰入金が生じている。公費の投入は、国保自体の財政基盤の強化に充てべきと認識したためである。  
〔その他の主な質問〕

○休日・病児保育について

## 市民サービス

**プレミアム商品券の販売について**  
石井 直彦  
(発言と行動する会)

**問** 雨の中、午前7時半頃から長時間並び、プレミアム商品券を購入できなかった市民にどのように説明するのか。

**答** 販売当日は天候等を考慮し、時間を30分前倒しするとともに、後列の方に対し、購入できない可能性がある旨の呼びかけとプラカード表示により周知したところである。

●高齢者等肺炎球菌予防接種費用について

**問** 高齢者肺炎球菌予防接種費用の市民負担金は熊谷市・鴻巣市より2倍以上高くなっているが、改善する考えは。

**答** 本市では接種に要する費用のうち、ワクチン代金相当額である4千円の自己負担をいただいている。今後も現状の考え方により実施する。

●公募による指定管理業務

**問** 市長は公益財団法人行田市産業・文化・スポーツいきいき財団の理事長である。今後5年間、委託者と受託者が同一の指定管理契約を行う事、更に双方から報酬が支払われる事についてどう考えるのか。

**答** 市の出資法人である財団が結果的に指定管理者に選定され、指定する者と受ける者の代表者が同一となること、また、役員報酬と支給規定に基づく報酬を受けることは問題ないものと認識している。



国保マスコット 健康まもるくん

健康で安心できる明るい未来へ